

愛知労働問題研究所

月 報

No・7 1988年 2月

名古屋市熱田区三本松 8-2

電話 (052) 871-5603

明日はわが身

……高年齢者の仕事等の要求実現をめざして

全日自労建設一般労組愛知県本部執行委員長 内 田 基 大

県下の失対労働者は、戦後30有余年就労し、国の方針で昭和61年9月に70才・62年4月に69才、63年4月に68才と、3回にわたって、800余人が年齢により「強制引退」させられています。これら引退させられた人々に生活の激変緩和措置として、1ヵ月10日就労、1日3,690円の任意就労事業で、希望者は2年間働くことが認められ、800人余のうち、360人がこの仕事についています

私どもの組合の調べでは、年金のない人、70余人、あとは3万円以下の年金ではとても生活はできず、さりとて子供や孫に頼ることもできず、どうしても働きつづけなければ困るという、高年齢者の仲間がいます。

われわれは、昭和20年廃虚の中から立ち上がり、県・市の土木事業に従事して、子供や孫を育ててきた。やっと一息ついて、振り返れば、政府・労働省の強制「年齢線引き」で、少しばかりの退職金で追い出されたのです。

高年齢化社会を迎える中で、年金のない人々と、わずかばかりの年金でどうにもならない高年齢者が全国では数百万人いることは、たしかなことです。全民労連は、「もう日本は喰えない時代ではない」と言っているが、これは全く逆で、現実を無視した暴言です。

失対を強制引退させらた愛知の仲間の中には、妻の看病に疲れ、希望もなく名鉄に飛び込んで自殺した仲間。そしてその仲間の妻は、ショックをうけ49日の命日を待たずに、夫につづいて病死した。また、嫁いだ2人の娘の家を交互に身を寄せていたが、希望を失って天白川に入水自殺した老婦人。現に失対に働いてはいるが、病気で養老院に入りたくとも入れず、有料の民間施設に行けば手持ちのカネを一切がっさい預けると誓約をしたら、認めるという厳しい現実に見舞われています。

アメリカにつき世界第2位の生産力をもち、また世界一のカネ持ちと言われるこの日本で、喰えない、生活できない高年齢者、生活保護に世話にならず、働けるうちは働きたいという老人に、国はなんの手だてもせず、この寒い中悩んでいる多くの高年齢者がいます。この現実を思うととても胸がしめつけられ、悔しく情けない。

(当研究所、理事)

「88春闘アンケート」結果紹介 ②

愛知県職員の家族アンケート

ンケート」調査をおこなった。回収率は、57.2%

家計の収入源 「職員の賃金収入のみ」という人は、37.5%、「職員以外の収入を加え」という人が61.9%と上回っていた。年齢が高まるにつれ「職員以外の収入を加える」が多くなっている。「これは、子供の教育費が高くなっていることにくわえ、住宅ローンの支払いなどにより、働かざるをえず職をさがさそうと思っても、内職・パートしかないように思われる」と分析しています。

生計費 「他収入あり」の方が「職員の収入のみ」より、27,000円程度多くなっている。

	本人のみ	他収入あり
全 体	259,184円	286,458円
30代	225,000	249,074
40代	273,148	292,262
50代	285,000	315,000

生計費の中での、食費とその割合は

	本人のみ	他収入あり
全 体	95,000(36.6)	118,181(41.2)
30代	81,944(36.4)	86,500(36.0)
40代	95,556(35.0)	108,333(37.1)
50代	137,500(48.2)	111,957(35.5)

全国平均27.0%よりはるかに高い。

また、名古屋市の標準生計費とくらべると

	標準生計費	アンケート
3 人	196,660円	257,092円

県職は、88春闘の討論促進のために、組合員のうち、既婚者の1割(905名)を対象に、87年12月7-16日の間に「家族ア

4 人	227,930円	259,465円
5 人	244,610	275,000

これは、「食料費や住居費が低く見積られていることに原因がある」とみえています。

やりくりに限界 「職員の収入のみ」という人で「赤字がでる」と答えた人は、54.1%。59-61年の調査では40%弱であったのにくらべるとやりくりの大変さがわかる。また「年末一時金」は、74.3%が「生活費の補填」と答えている。

奥さんの賃上げ要求 本人のみの収入の人の要求額は

	全体	30代	40代	50代
要求額	36,071	37,500	40,625	34,583
アップ率	13.9%	16.7%	14.9%	12.1%

しかし、昨年の調査による要求額より下がっている。

ご主人の健康は 「時々疲れてかえってくる」「調子が悪そう」「病気がち」という人が50.8%で、「調子がよい」「ふつう」の48.4%を上回っている。

しかも、主人が「熱があっても休まず出勤する」人が81.6%にのぼっていた。昨年調査の62.4%を大きく上回っていた「地方行革のすすむなか、人員が削減され、休みたくても休めない実態がある」とみている。

4割が仕事を家に持ち帰る 「めったに持ってこない」「持ってこない」を合わせ58.2%であるが、「時々持ってくる」36.9%、「毎日のように持ってくる」人が4.1%と、4割をこえる人が仕事をもち帰っている。しかし「持ってこない」人のなかには、「恒常的な時間外労働をしていて、家まで持込めない状況がある」のではとみている。

政府に対する期待 一番多いのは「所得減税と不公平税制の是正」(57.4%)で、とくに50歳代は、66.6%。つぎは、「物価の抑制」(42.4%)、「教育制度の改善」(21.3%)となっています。各年代とも1、2位は変わらないが、3位になると、30代は「住宅・土地政策の充実」、40代では「教育制度の改善」、50代は「医療制度の充実」をあげている。

名古屋市職労

88春闘賃金要求・生活実態アンケートの結果を1月あきらかにしました。全組合員対象、回収率は、72.13%。

あなたの家計は 自分の賃金だけで37.0%、共働き32.4%、その他の家族の収入も14.3%、配偶者の内職・パート9.8%、一人住い4.8%

いまのくらしむきば すこし苦しい33.3%、かなり苦しい32%で、両方で65%を占めている。余裕がないが苦しくもないが29.9%。すこし余裕4%、かなり余裕0.8%と、ごく少数。

家計のやりくり 1位はレジャー48%、2位は衣料品42%、3位はこづかい27%、4位は貯蓄24%、5位は耐久消費財21%、つづいて住宅改善16%、食費13%、酒・タバコ4%、教育費2%となっている。

1ヵ月必要な賃金は

70万円	3 %	60万円	1 %
50	7	45	4
40	15	35	18
30	26.6	25	14

20万円 8 % 15万円 2 %

賃金要求は

8万円以上	10%	7万円程度	1%
6.5万円程度		6	1
5.5	1	5	19
4.5	1	4	4
3.5	5	3	23
2.5	4	2	16
1.5	6	1	8
0.5	1	必要なし	1
加重平均		36,000円	

制度要求は

時短・週休2日制	50.3%
大型間接税反対・減税	43
物価抑制	23
最低賃金制度の確立	20
公的年金の改善	19
福祉・医療の充実	13
住宅政策の充実	10

愛知医労連

(愛医労分、455人分集計)

暮らしむき

満 足	11人	2.0%
まあまあ	192	42.2
不 満	240	52.7
回答無し	12	2.6

家計まかない

自分の賃金	131人	25.9%
家族の収入	316	62.6
副 収 入	2	0.4
貯金引出し	21	4.1
借金(短期)	8	1.6
仕 送 り	6	1.2
回答無し	18	3.6

家計のやりくり

食 費	87人	9.4%
衣 料 品	246	26.7
住宅改善	104	11.3
趣味レジャー	169	18.3
耐久消費財	153	16.6
小 使 い	110	11.9
回答無し	55	5.9

必要な収入額

1万円	4人	0.9%
2	20	4.4
3	95	20.9
4	27	5.9
5	187	41.1
6	14	3.1
7	14	3.1
8万円以上	60	13.2
回答無し	34	7.4

賃上げ要求額

1万円	16人	3.5%
2	69	15.0
3	158	34.4
4	30	6.5
5	118	25.7
6	8	1.8
7	4	0.9
8万円以上	22	4.8
回答無し	34	7.4

87春闘結果

満 足	16人	3.5%
まあまあ	165	36.1
不 満	241	52.7
回答無し	35	7.7

<3月の行事>

・県統一労組懇

88国民春闘
再構築をめざす
討論集会

3月12日(土)午後1時-4時半
名古屋市公会堂 4階ホール

- ① 基調報告 ② 活動報告
③ 討 論

積極的な参加を期待しています。

愛知統一労組懇

くらしの感じ

満 足	3.7%	まあまあだ	50.0
不 満	45.9	回答無し	1.5

家計のまかない方

家族の収入	56.9%	借金	4.0
自分の賃金	17.4	残業など	3.2
貯金引出し	14.2	仕送りなど	1.1

家計のやりくり

衣料品	45.6%	小遣い	26.1
趣味レジャー		住宅改善	21.2
	40.9	食 費	19.8
耐久消費財	33.8	その他	9.5

あといくら必要か

1万円	1.4	5万円	36.7
2	7.2	6	5.2
3	22.9	7	3.1
4	5.7	8万円以上	15.3

2月8日中間集計、15,878人分
(自治労、全港湾、国公、建設一般、
医労連、尾西地域、名中地域)

賃上げ要求額 3万円以上 80.2%

1万円 3.6% 5万円 28.3%

2 13.7 6 4.0

3 30.9 7 1.8

4 6.4 8 8.8

2/11トヨタ総行動に250人

第8回トヨタ総行動は、2月11日、寒風のふきすさぶ早朝から宣伝行動をはじめ、デモ行進、トヨタ自動車との交渉と、多彩にくりひろげた。この行動に、全県から250人が参加し、トヨタ自動車にたいして「社会的責任を果たせ」と申し入れた。早朝宣伝のあとデモ出発地点で地元の新婦人の方たち熱い味噌汁の激励をうけた。

・88愛知総行動

3月13日(日)午後1時から

要求交流集会

①輸入食料品の実態調査 ②要求交流集会 ③要求・運動のイメージを語交流・懇親会(会費4,000円)

3月24日(水)午後0時15分から

要求提出行動

①要求提出三の丸昼休み決起集会(城小公園) ②要求提出行動

3月27日(日)午前11時から

いのち・くらし・

教育・文化・平和を守る県民総決起集会

白川公園

・石川島播磨人権侵害やめさせる会

総会 3月19日(土)午後3時

南区役所 講堂

・全民労連

3月1日 午後 愛知労済会館

「愛知県地方組織準備会」結成

結成総会終了後、政財官の代表

などを招待して、祝賀パーティ

が予定されている

第43回定例研究会の報告（1月23日）

シンポ「88年愛知の労働運動」

＜――春闘再構築と労戦右翼再編阻止で＞

さいしょに、当研究所所長の大木さんよりつぎのような報告がなされた。

日経連の「労問研報告」や「新経済5か年計画（中間報告）」において、財界＝支配層は労使関係や国民生活全般にわたる大規模な日本経済の転換を打ちだしている。ところが、「連合」・総評の運動をみると賃上げや「合理化」さらには安保体制についての取り組みに弱点をもち十分に対抗しえない。そこで、これを批判すると同時に、こうした運動をのりこえるべく職場や地域の実状に即した主体的運動を構築していく必要がある。

つづいて、国労の大野さんからは、まず、国労の組織実態と労働者の状態にふれ、名古屋では分割民営化により、15,000人（86.8）いた労働者が7,700人（87.4）と半減し、10,000人いた国労組合員が役7％にまで激減するという攻撃のなかで、昨年の賃上げが0.95％（2,200円）に抑えられた。国労のアンケート調査では平均46,000円の賃上げを要求しており、「連合」の7％程度の賃上げでは生活できない。その上、オレンジカードを販売させるなどのタダ働きも横行している。労戦問題では、国労は「連合」路線には明確に反対の立場をとっており、これを運動として本格化させる必要があるとして

昨年10月からの労働協約改定闘争における要求運動が紹介された。

つづいて、機械金属連絡会の梶原さんから、連絡会の組織結成の経過についてのべられた。全金の右傾化がすすむなかで、全金の伝統を守るため連絡会を82年12月結成した。春闘は、全金が「連合」に加盟することにより、春闘の日程が「連合」の集中回答日に接近した。連絡会では、これより前の3月24日に回答日を設定し、「連合」を上回る回答を引き出す決意である。また、そのなかで組織拡大をすすめる単産化をめざす。さらに、連絡会を中心にして産業空洞化反対と春闘再構築をすすめる全国的な「懇談会」を昨年12月に発足させているので、愛知でも春闘のなかでこれを結成していく決意が表明された。

ひきつづいて、愛知労働運動研究センター（労研センター）の岩瀬さんからは組織の紹介があった。全民労協結成に危機感をもった労働者などが、総評運動を守るべく労研センターを結成した。愛知では、4年半前に国労の支援のなかで、国労の労働者を中心につくられた。そして、当面の目標は、地区労組織を守ることであり、現在、県下4地区で、地区労の幹部とともに、その対策をすすめている。さらに「連合」は労働運動を右翼的に再編成し、労働者・国民を国家組

織に統合しようとする「新国家主義」のデコに利用されるということ、職場で訴えていくことの必要性が強調された。

さいごに、県統一労組懇の阿部さんから、まず、情勢についてのべられた。「連合」の問題は、たんに労働戦線をめぐる争いではなく、右翼的労働組合が、独占資本と一体となって労働者の労働条件を切り下げ、国民全体の利益に反する行動をとっているという、政治的深みでみる必要があると強調された。しかし、同時に独占の職場を含めて、多くに労働者の中に大きな変化が生じてきており、統一労組懇のかかげる課題や運動に合流してきているとのべられた。そして、春闘は、組合員の要求を基礎にして、組合民主主義を貫くと同時に、国民の利益を守る諸課題を高く掲げて闘ってゆくという決意が表明された。

5人のパネラーの提起をうけて、討論では、中電、自治労、私大教連、JRなどの職場から、積極的な発言が出された。そのうえで、あらためて5人のパネラーから、若干のまとめ的な発言をうけて、シンポを終わった。

(渡辺)

・・パネラー紹介・・・・・

大木 一訓 日本福祉大学教授
大野 清光 国労名古屋地本委員長
梶原 松良 愛知機械金属連絡会代表
表・全金川本支部委員長
岩瀬 幸男 愛知労研センター代表
阿部 精六 県統一労組懇事務局次長

……研究会の案内……

第45回定例研究会

- ・と き 3月19日(土)午後1時から
- ・ところ 名古屋市婦人会館
- ・テーマ 改悪労働基準法施行を前に
- ・報告者 愛知大学教授 宮崎 鎮雄
ほか

運動史研究部会研究会

第3回 3月 2日(水)午後6時半

第4回 3月14日(月)午後6時半

ところ・いずれも、名古屋市婦人会館

報 告・戦後愛知の労働運動のながれ
と主な動き

第3回は 1965年からの10年間

第4回は 1975年以降現在まで

婦人労働研究部会研究会

第3回 3月23日(水)午後6時半

ところ・名古屋市婦人会館

テーマ・政府・独占の婦人労働政策

会員の皆さん方の積極的参加を。会員外の方にもおさそいください。

愛知の労働運動・・・1988年 1月

- 1日 「15の春を泣かせない連絡会」の父母、教師600人が熱田神宮と豊川稻荷門「複合選抜反対」の宣伝と署名行動
- 6日 愛知同盟旗びらき
- 8日 愛労評旗びらき
- 10日 運輸一般愛知地本10周年記念レセプション
- 12日 県教育委員会議が父母らの反対をおしきって「複合選抜入試」を決定
- 13日 トヨタ労連中央委員会で賃上げ要求6%を確認
- 14日 「15の春を泣かせない連絡会」が緊急集会
- 15-16日 愛知統一労組懇88春闘臨時総会 人間の尊厳を守る春闘を、と
- 20日 「88いのち、くらし、教育、平和を守る愛知総行動」が実行委員会を結成
- 21日 県国民春闘会議が賃上げ要求を7%以上、3/23を「NO! 残業デー」3/27春闘総決起集会などを確認
- ・県民中等協が「複合選抜反対」の緊急アピール
- 22日 愛知労研センター春闘学習決起集会
- 26日 「革新市政の会」公共料金値上げ反対署名79,000人分を市長に提出
- 28日 「利用しやすい名古屋駅にする会」結成総会 施設改善やダイヤで要求続出
- ・ナトコ争議、社長宅包囲行動
- 31日 第5回トヨタシンポジウム

愛知の政治経済・・・1988年 1月

- 13日 愛知県、63年度から60才以上65才未満の人を多く雇用する企業に「60才台前半層雇用促進奨励金」（仮称）を支給する方針、第三次産業での中高齢者雇用の可能性を調べる「職域開発調査会」も設置。
- 大隈労組、社長と副社長の退陣を会社に応入れ。
- 協豊会、栄豊会の合同大会開催、トヨタ社長、今年の重点施策として①低コスト化と軽量化技術の研究開発②高品質の確保③海外現地生産国との共存共栄、を要請。
- 19日 富士重工業の半田市への進出決定、用地は愛知県が造成した衣浦港13号地の5万平方メートル、新工場では次世代旅客機となる日米共同開発のボーイング7J7型機の組立を予定、富士重工の進出で、東海地方に航空機の三大メーカーそろふ。
- 21日 名古屋国税局、63年最高路線価発表、東海4県の引き上げ率は平均で16.3%、名古屋市は27.9%。
- 25日 県労働部、62年の有効求人倍率発表、0.96で58年と並び最悪。
- 28日 愛知県、内陸工業用地の造成計画を拡大する方針、65年度までに東三河中心に約200㏊追加を検討中。
- トヨタ、航空機分野に進出を発表、小型飛行機の輸入販売などを行っている日本フライングサービスに資本参加し筆頭株主に、また、今年春をメドに米国トヨタ自動車は米国の航空機販売会社に資本参加の予定、将来は製造も